

今 あなたの力が必要です!

# 消防団員募集!

消防団は、自営業や会社員、学生や主婦などで組織されている消防機関です。災害活動や住民への防災指導など街の安全・安心に貢献しています。

大学生のきょうこちゃん、自分の街を守りたいと消防団員として活躍しています。さて今日の活躍は?



## ◆入団条件

- 18歳以上の健康な方
- 消防団の区域に居住、勤務又は通学している方

## ◆消防団員の処遇

報酬▶年額報酬や出場手当の支給があります。  
 公務災害補償▶活動中に負傷した場合の様々な補償があります。  
 被服等の給与▶活動に必要な活動服や制服等が支給されます。  
 退職報償金▶5年以上消防団活動を行った方が退団した時に支給されます。  
 表彰▶活動にあたって功勞、功績があった場合に表彰されます。



**消防団員募集** お問い合わせはフリーダイヤルまたは最寄りの消防署まで  
 ☎ **0120-119-588**  
 午前9時から午後5時まで(土・日・祝日を除く)

**東京消防団**  
<https://tokyo23city-syobodan.jp/>

※市町村の方は各市町村の窓口までお問合せください。

電気火災の原因調査にご協力を

## 電気製品の「小さなこげ跡」でもご相談ください

電気製品は、「小さなこげ跡」でも偶然に消えただけで、大きな火災になる可能性があります。  
 「小さなこげ跡」を見つけたけれど「通報する」かどうか迷った場合は、ホームページの「東京消防庁版電気製品火災相談ガイド」をご覧ください。



▲東京消防庁版電気製品火災相談ガイド

## これも電気火災です



コンセントに差した状態で燃えて壊れたモバイルバッテリー  
 コンセントボックスの蓋を踏み込んで出火  
 燃えて壊れたモバイルバッテリー

## リチウムイオン電池の廃棄方法に注意!! ~火災が増加しています~

リチウムイオン電池は、スマートフォンやタブレットなどに使用されています。可燃ごみに混ぜて捨てられたリチウムイオン電池が、ごみ収集車の中でつぶれて火災になるなど、リチウムイオン電池による火災が年々増えています。  
 リチウムイオン電池を廃棄する際は、区市町村の分別回収方法をご確認いただくか、家電量販店などのリサイクル協力店にお持ちください。  
 リサイクル協力店の最新情報は、一般社団法人JBRCのホームページからご確認ください。



火災になったゴミ収集車



収集したゴミの中でつぶれて発火したリチウムイオン電池



▲一般社団法人JBRC <https://www.jbrc.com>



## お楽しみプレゼントコーナー

ご応募いただいた方の中から抽選で119名様に「東京消防庁オリジナルグッズ」をプレゼント!!

**ランチバッグ**  
 サイズ約W300×H200×D100mm

**＜応募方法＞** ハガキまたはメールに①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先またはメールアドレスまでご応募ください。  
 〒100-8119(住所不要)  
 東京消防庁広報課「広報とうきょう消防」編集担当  
 メールアドレス: oubo@tfd.metro.tokyo.jp

**＜締切＞** 令和3年9月6日(月) 必着 (応募はお1人様につき1通といたします。)  
**＜当選発表＞** プレゼントの発送をもって発表といたします。  
 ※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用いたします。前回(第41号)プレゼントコーナーへのたくさんのご応募ありがとうございました。

# 広報 とうきょう消防 第42号

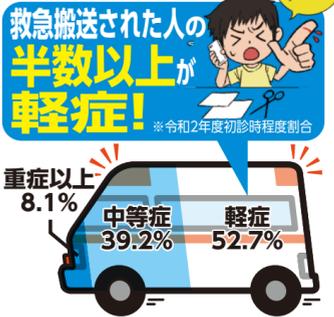
TOKYO FIRE NEWS

## 9月9日は救急の日

### 救急車の適正利用をお願いします! ~#7119を知っていますか?~

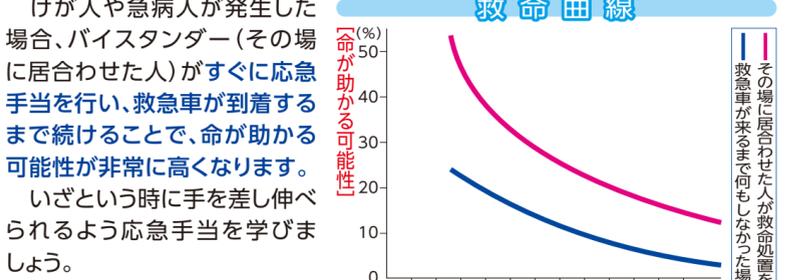
緊急でない救急要請により、救急車を必要としている人が困っているかもしれません。救急車を呼ぶか迷った時には、「#7119」救急相談センターに電話してください。24時間365日、救急相談看護師が救急車の必要性や受診可能な医療機関の案内などを行っています。

また、ご自身で緊急性の有無が確認できる「東京版救急受診ガイド」を東京消防庁ホームページで提供していますので、ぜひご利用ください。  
 一刻も早く、病院に行く必要のある人のもとに、救急車が到着できるように、ご協力をお願いします。



病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 迷ったら...  
**電話でも! ネットでも! #7119**  
 こちらからもつながります 23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323  
**東京消防庁救急相談センター**

## あなたの応急手当が大切な命を救います!



救急車が到着するまで約7分かかります。

応急手当の知識を深めたい人は...  
 電子学習室はこちら  
 救命講習のご案内はこちら

救急車が来るまでに、あなたができること「応急手当の手順」

- 1 反応の確認**  
 肩を軽くたたきながら声をかけます。
- 2 119番通報**  
 119番通報をします。救急車が到着するまでに、電話で救急隊等がアドバイスをすることができます。
- 3 呼吸の確認**  
 胸や腹部の動きを見て、普段どおりの呼吸をしているかを10秒以内に確認します。
- 4 胸骨圧迫**  
 普段どおりの呼吸をしていない、または判断に迷う場合は、すぐに胸骨圧迫を行います。
- 5 AEDによる電気ショック**  
 AEDの電源を入れ、電極パッドを胸に貼る。AEDの指示に従い電気ショックボタンを押します。

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、反応の確認、呼吸の観察時は顔を近づけすぎないようにし、胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやタオル等があれば倒れている人の口と鼻にかけましょう。  
 ※応急手当実施後は、速やかに手洗いなどを行いましう。

**東京消防庁公式アプリ 救急サポートツール**

心肺蘇生や応急手当の方法を動画で見ることができ機能や、心肺蘇生を実施する際のサポートとなる胸骨圧迫テンポ音機能等のツールを搭載しています。

救急サポート動画 胸骨圧迫テンポ音

公式アプリダウンロードはこちらから!

無料 第42号 特別消防レアカードプレゼント!

# 知ろう! [防災] 行こう! [訓練] 防災週間 8月30日(月)～9月5日(日)



令和3年度防災週間ポスター

## 防災訓練用車両のご紹介

### まちかど防災訓練車

#### すぐに放水訓練

軽トラックベースの小型車で、住宅街や小さい公園でも訓練でき、車両に積載した水を循環させて、スタンドパイプや屋内消火栓による消火訓練が可能です。



スタンドパイプを組立てた様子



消火訓練の様子

大正12年9月1日、関東大震災が発生し、関東地方を中心に甚大な被害をもたらしました。また、台風の多い時季でもあり、広く地震や台風などの災害への防災意識を高めてもらうため、9月1日を「防災の日」とし、この日を中心に「防災週間」が定められています。

### おうちでも“防災行動力”は身に付けられます

～リモート防災学習・東京消防庁公式アプリを活用しよう～

地域の防災訓練に参加し、災害からご自身や家族・友人を守る「防災行動力」を身に付けましょう。

新型コロナウイルスの感染状況により、防災訓練への参加が難しい時は、東京消防庁ホームページの「リモート防災学習」をぜひご利用ください。防火防災に役立つ動画の視聴や防災に関するクイズに挑戦できます。

また、東京消防庁公式アプリでは、出火・延焼危険度などが確認できる「マップ機能」や防災関連の動画配信など、緊急時にも役に立つ機能を搭載しています。

ご自身に合った方法で「防災行動力」を身に付け、いざという時に備えましょう!



マップ機能



◀リモート防災学習はこちら

### VR防災体験車

#### いざという時をリアルに体感

最新のバーチャルリアリティ技術を活用し、臨場感あふれる360度の立体映像、揺れ・風圧・熱などの演出により、地震、火災、風水害を疑似体験できます。



VR防災体験車プロモーション映像はYouTube東京消防庁公式チャンネルからご覧いただけます。



### 起震車

#### 地震の揺れを忠実に再現

東日本大震災や近年発生した大規模地震などの揺れを体感することができます。バリアフリーに配慮し、車いすの方も体験が可能です。



車いす昇降装置 地震体験の様子



防災訓練用車両の詳しい概要については、東京消防庁ホームページ「防災訓練用車両の紹介」ページをご確認ください。



## 防災館

### 本所防災館リニューアル リアルな防災体験をしよう!

浸水体験コーナー新設! 今春、本所防災館に「浸水体験コーナー」を新設し「地震体験コーナー」をリニューアルしました。

「浸水体験コーナー」は、浸水を再現したプール内でVRゴーグルを装着し歩行することで臨場感溢れる体験ができます。また、プロジェクションマッピングを使用した浸水状況体験ができるようになりました。

地震体験コーナーは、室内だけでなく、屋外やコンビニエンスストア店内での地震体験ができるほか、ガラススクリーンを通して待っている方に地震時の大切なポイントを伝えます。

#### —地震体験コーナーリニューアル—



ガラススクリーンに地震時のポイントを表示 コンビニエンスストア店内での地震体験

#### —水害対策を体験—



暴風雨体験コーナー 都市型水害体験コーナー

**本所防災館**  
 ■住所/墨田区横川4-6-6  
 ■開館時間/午前9時～午後5時  
 ■TEL/03-3621-0119  
 ■休館日/水曜日・第3木曜日(祝日の場合は翌日)

**池袋防災館**  
 ■住所/豊島区西池袋2-37-8  
 ■開館時間/午前9時～午後5時(毎週金曜日午後9時まで)  
 ■TEL/03-3590-6565  
 ■休館日/第1火曜日・第3火曜日及び第3火曜日の翌日(祝日の場合は翌日)

**立川防災館**  
 ■住所/立川市泉町1156-1  
 ■開館時間/午前9時～午後5時  
 ■TEL/042-521-1119  
 ■休館日/木曜日・第3金曜日(祝日の場合は翌日)

※防災館では、新型コロナウイルス対策として、手指消毒、マスクの着用などを実施しています。最新の開館状況は、防災館ホームページ・電話にてご確認ください。



## 家具類の転倒・落下・移動防止対策

### 家具類の地震対策は“命を守ります”

地震への備えを確認し、身の回りの家具類に転倒・落下・移動防止対策を実施しましょう。



地震時のケガをした人の約3～5割は、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。家具類の転倒・落下・移動により、電気ストーブなどの電源スイッチが押され火災が発生することがあります。倒れた家具等が避難通路をふさいでしまい避難の妨げになることがあります。

## 3つの対策

### 地震対策をしていないと…地震発生



#### 1.集中収納

クローゼットや据え付け収納家具へ集中収納することで、できるだけ生活空間に家具類を置かないようにしましょう。



#### 2.家具類のレイアウトの工夫

寝室には、なるべく家具を置かないようにしましょう。置く場合は、レイアウトや置く方向を見直しましょう。



それぞれに適した対策器具を設置しましょう。家具類の転倒・落下・移動防止対策について詳しくは東京消防庁ホームページの「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」をご覧ください。

